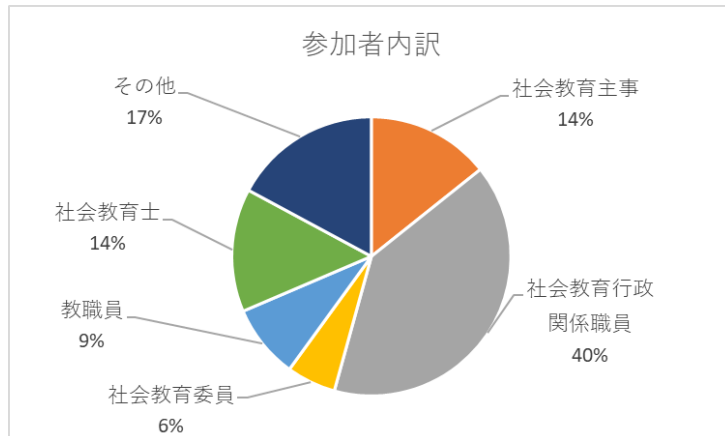


「“つながる” から動き出す－地域と学校の協働のつくり方－」

事業の内容

- 1 日時 令和8年5月15日（金）
13:30～15:00
- 2 場所 Web会議システム zoom
- 3 参加者 54名



I プログラム

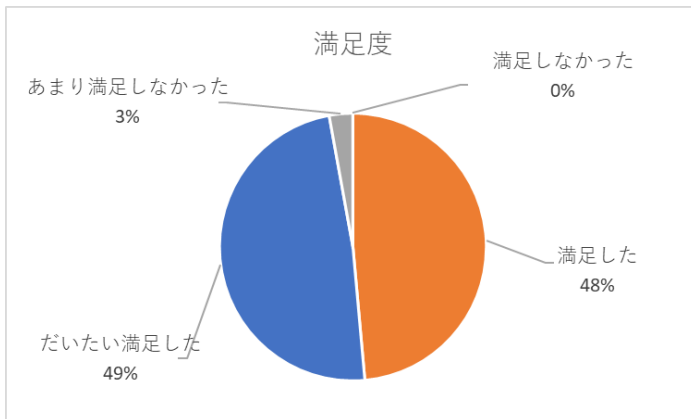
13:15	13:30	13:35	14:35	14:45	14:55	15:00	15:30
受付	開会	講義・実践発表	情報提供	質疑応答	閉会	講習・フリートーク	

<p>【講義】 「“つながる” から動き出す －地域と学校の協働のつくり方－」</p>	<p>【内容】 学校評議員や学校運営協議会の比較や、地域学校協働活動の説明や、講師が実践してきた例をもとにした多様な主体の連携による地域学校協働活動の充実について発表があった。「社会に開かれた教育課程」の実現に向けてどのような準備や工夫を行ってきたのか解説をして参加者はより一層理解を深めた。</p>
<p>【講師】 埼玉県川口市立鳩ヶ谷中学校 校長（社会教育士） 市川 重彦 氏</p>	
<p>【交流・フリートーク】 参加希望者</p>	<p>【内容】 研修の感想等を交流して、参加者同士がつながる時間となった。</p>

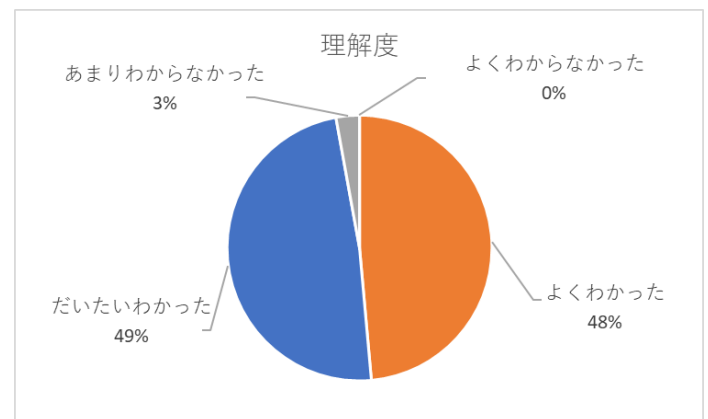


Ⅱ アンケート結果

1 満足度



2 理解度



Ⅲ 参加者からの声

- ・学校運営協議会を委員だけのものにするのではなく、保護者一体を巻き込んで当事者意識を持ってもらう取組が素晴らしいなと思いました。また、社会教育の推進において個々の活動も大事ですが、各団体等が横断的につながりをもって活動を行うことで、地域全体がパンプアップされるのだと納得しました。
- ・市川先生の取り組まれてきた成果の具体的な内容を伺い、社会教育は地域とともに楽しむことが重要であると認識いたしました。また、研修会全体のリラックスした明るい雰囲気も印象に残りました。
- ・講座でもあった通り学校という組織は地域に開かれた組織であるべきであり、学校運営協議会での熟議のもと、学校や地域住民が納得するような形で進められなければならない。講座でもあったように他人事として考えるのではなく、携わる人全員が課題意識を持ち、一体となって進めていく必要がある。そのためには大人にも学びの機会を設けて、活発な意見交流の場が非常に有効的であると感じた。
- ・大変分かりやすい講義でした。私の自治体でもぜひこのような取り組みを行いたいと強く感じ、ワクワクしながら拝聴いたしました。現在、形骸化していたコミュニティスクールを「学校教育×社会教育」の両輪から変革し、リニューアル導入の準備を進めているところですので、本講義はとても勉強になりました。

Ⅴ 担当者からひとこと

今回の研修では、事例を通して地域学校協働活動への理解を深めることができました。活動を充実させるためには、学校・地域・保護者が話しやすい環境づくりが重要であり、地域住民や保護者が当事者意識をもって参加できるような工夫が必要であると感じました。また、熟議を具体的な取組につなげることの大切さや、多様な主体が連携することで活動がより充実することを学びました。

研修後の感想交流でも盛り上がり、参加者同士で時間いっぱい交流する様子が見られ、地域を越えた交流が行われたことに大変嬉しく思います。またぜひご参加ください！